

令和5年度 都城市立小松原中学校 学校評価書

(4段階評価 4:期待以上 3:ほぼ期待通り 2:やや期待を下回る 1:改善を要す)

目標	数値目標	評価項目	自己評価	生徒	保護者	現状分析	次年度に向けての改善策	学校関係者評価	学校関係者評価コメント
【徳育】・誠実 豊かな人間性の育成	①学校が楽しいと思う割合を90%以上を目指す。 ②人権宣言を意識して生活している割合を90%以上を目指す。	言語環境の整備	2.9	3.3	3.2	○言語環境については、たとえ仲よし同士でも不適切な言葉が語尾に聞かれることがある。 ○コミュニケーション力も高くはなく、なかなか真意が伝わらない場面が見られる。自己表現も苦手で順序立てて発言できない。コミュニケーション能力の不足から人間関係に悩む生徒も散在している。 ○道徳については、生徒の評価が高く、授業中の発表も多く、意欲的であり、充実していることが分かる。 ○毎月の生活実態調査から、①の数値目標は92%で達成できたが、②の数値目標は80%で達成できなかった ○SNS関係のトラブルは減少した。	○言語環境については、常時指導、道徳の時間の充実が必要である。 ○コミュニケーション力については、自分の思ったことを発表する場を多く設定する。言い間違えるなど発表を失敗しても、再度挑戦しようとする教室の雰囲気づくりを行う。(ソーシャルスキルトレーニングの活用) ○道徳については今まで通り、計画的に進めていく。より深く考え協議し、学び合うための手立ての検討が必要である。 ○年度当初の生徒指導によるSNSを含めた情報教育や総合的な学習の時間に設けた情報教育の日の取組を、更に内容を精選し相互の連携をもたせた取り組みにしたい。	2.7	○対人関係(コミュニケーション)問題やSNSトラブル対策を考えてほしい。 ○仲間同士での名前の呼び捨てなど、相互の人権感覚が低いことが、小中学校ともに言えるのではないかと。 ○いずれも家庭での教育、指導が大事だと思います。 ○生活実態調査から目標に達した、学校が楽しいが、大変評価できる。 ○人権に関する思いやり等の不足があると伺える。しかし、いずれも改善へ向けての目標が示されている。評価できます。
		コミュニケーション能力の向上	3.0	3.3	3.1				
		道徳科の充実	3.1	3.5	3.0				
		総合評価	3.2						
【知育】・努力 確かな学力の育成	①家庭学習(平日)2時間以上の割合を4月当初より10ポイント以上増やす。 ②図書室の貸し出し冊数を昨年度より10%以上増やす。	基礎基本の定着	2.9	3.3	2.8	○校内研修を「ICTを活用した授業実践」として取り組んできた。 ○授業で発表する生徒は多く、中には積極的に質問し納得いくまで粘り強く取り組む生徒もいる。 ○数値目標①については+4%であった。 ○家庭学習のアンケートでは、平日の家庭学習の時間が60分未満の生徒が1・2年生では64%、3年生では33%いる。 ○各学年半数以上が宿題以外の学習の仕方を知りたいと考えている。 ○図書室の本の貸し出し状況は、全校生徒平均9.9冊で、特に1年生の貸し出し冊数が多い。	○小中一貫教育授業研究会などで、Googleアプリの効果的な活用について実践的な協議をさらに深めていきたい。 ○基礎、基本の定着のためにはキュピナなどを利用し、基礎・基本を繰り返し徹底していく。 ○ONIEや新聞の要約など自分の意見を発表する場を設ける。 ○宿題以外の学習の仕方について各教科ごとにまとめ、継続して行えるよう学力向上集会を開催する。 ○図書館サポーターと図書委員との連携を図り、読書活動の活性化につなげ意識を高めたい。	3.0	○ICT機器を活用した、「わ・さ・び」に沿った授業展開を行っている小学校と、まだそうではない中学校とのギャップがないように小中連携を進めなければならない。 ○ICTの活用に関して、小中学校で連携して学べるような系統表の作成が必要ではないか。 ○個人差の点が少し気になる(出来る子と出来ない子) ○授業を拝見させて頂き皆な真剣に取り組んでいる姿がうかがえた。 ○改善策に教科ごとの学習の仕方を示されており評価できる。 ○保護者の望みと本人達の思いの差は必然と考える。 ○先生方は少しでも学力の向上を念頭に指導・教育されているのが伺える。 ○家庭学習において、計画、テスト、分析、練習を行わせることで、より充実した学習ができるのではないかと。宅習ノート(枠付きのもの)を作成してはどうか。これも小中連携で検討してはどうか。
		主体的に学習に取り組む態度の育成	3.0	3.1	2.6				
		家庭学習の充実	3.1	3.1	2.5				
		総合評価	2.9						
の育成【体育】・忍耐	①体力テストでAランク10%以上、Dランク10%減少を目指す。 ②各種治療率を前年度より10%以上を目指す。	体力と競技力の向上	2.8	3.4	2.8	○欠席が少なく、あまり体調不良を訴える生徒も少ない学年もあるが、不登校生がいる学年もある。昨年度からの新たな長期不登校生徒はいない。 ○インフルエンザやコロナの流行った時期は感染対策の意識は強かったが、今、緩みつつある。しかしながら、給食は意外と黙食できている。 ○昼休みにグラウンドで元気がよく遊ぶ生徒が多い。 ○体力テストでは、学年が上がるにつれTスコアが上がる生徒が見られ、数値目標①は達成できた。 ○う歯の治療については、教育相談も活用して個別の対応をしているが、治療率は20%止まりで昨年と変わらず低く、数値目標②は達成できていない。	○最後の中体連に向け、基本的な生活習慣の確立を目指し、精神面、体力面の向上に努めさせる。 ○インフルエンザやコロナが集束したわけではないので引き続き感染対策を行っていく。活動後の手洗いやうがい、教室の換気、給食の黙食など感染症対策が習慣化されているので、継続して指導する。 ○生産者に対し、感謝の気持ちをもたせ、できるだけ、好き嫌いをなく完食させる。 ○教育相談に加え参観日の保護者懇談の話題にするなど、う歯の治療について促す機会を増やす。治療機会の確保のために、部活動との連携を図る。	3.5	○体力・体格ともに成長して十分な指導・教育の元に出来ていると思う。 ○部活動等で皆頑張っていると思います。治療に於いては保護者と学校が連絡をとりあい解決すべきではないかと。 ○欠席や体調不良者も少なく、その上休み時間は元気よしのことは大変好ましく、健全である。 ○一部不登校者に対し、ヤングケアラー等を含めて精査し対処してほしい。
		自己管理能力の向上	2.7	3.2	2.8				
		食育の推進	2.8	3.7	3.0				
		総合評価	3.0						
すぶる人材の育成【地域に貢献】	①今住んでいる地域の行事に参加している割合50%以上を目指す。 ②小中合同研修会の確実な実施を目指す。	地域活動の積極的な発信	3.2	3.2	2.9	○教師の働きかけで、広くボランティア活動に参加できる場が増え、積極的に地域に貢献している。ボランティアスピリットアワードのブロック賞を受賞した。 ○学校運営協議会委員からの支援で職場体験事業所の確保や職業講話の講師紹介をしていただき、教育活動の充実が図れた。また、人権教室や消費者教育など講師を招いての授業も行えた。 ○PTA資源回収やまちづくり協議会からの依頼を受けた地区公民館周辺の植栽活動、地区まつりの準備、運営、片付けのボランティア等、生徒の活躍できる場が復活してきたにも関わらず、保護者の評価が低い。 ○大王小とのあいさつ運動など積極的にいった。 ○数値目標①は69%であり達成できた。②も計画的に実施し達成できた。	○今後もボランティア活動に積極的に参加できる環境を作る。 ○来年度も職場体験の新たな事業所の開拓を含め、積極的に地域の人材を活用していくため、学校運営協議会の支援をいただく。 ○PTA資源回収や地区公民館周辺の植栽活動、地区まつりの様子など学校ホームページや学校便りでも紹介したが、さらに学級通信やsigfyでの紹介、動画を編集するなど情報発信の工夫が必要である。 ○大王小との連携も、定期的に相互に連絡を行うようなシステムを構築して継続していきたい。	2.5	○まだまだ地域との連携や協働が出来ていない感じがする。 ○ボランティア活動は地区に於いても大変助けられており感謝しています、今後も宜しくお願いします。 ○地域行事への参加やボランティア活動で協力を得ている。 ○1小1中の特長を生かして、連携を深めてほしい。(生活指導等含む) ○職場体験学習の日程や職種等を早めに知らせてほしい。 ○来年度のキャリア教育の講師の内諾は得ている。 ○面接練習の面接官の登録をしてはどうか。 ○学校と地域社会をつなぐ立場で活動したいので、学校からの情報提供がありがたい。
		地域人材の積極的な活用	2.8	3.0	2.9				
		地域社会への貢献活動	3.0	2.7	2.8				
		大王小との連携・拡充	2.8	3.0	2.9				
		総合評価	2.9						